



**6月26日(日)
13時 & 15時公演**

※入場は開演の30分前です

会 場: 前橋文学館3階ホール
定 員: 各回50名
観覧料: 500円(当日支払)

演出

中村ひろみ

出演

生方 保光(劇団ザ・マルク・シアター)
大島加代子(演劇ユニットコトリ)
大島 政昭
高橋 幸良(人形劇団やまねこ座 -人形劇工房-)
中村ひろみ
アンダースタディ・ミヤビミカド(劇団DICE)
東野 善典
萩原 朔美(前橋文学館館長)

照明・音響

前橋文学館

当日制作

中島真理子・本木薰

制作・演劇

プロデュース

とろんぷ・るいゆ

主催 前橋文学館 協力 NPO法人波宣亭俱楽部

電話予約・お問い合わせ

027-235-8011

作・栗原飛宇馬 猫町観光案内

萩原朔太郎「猫町」より



2019年5月開催の朔太郎忌(前橋テルサ)での初演とはまた異なる
小さな空間で役者が躍動する猫町観光案内をお届けします



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち
前橋文学館

《あらすじ》

普通とは異なる旅行を強く望むカップル・澄生とまおは、何か訳ありな旅行代理店が主催する「特別ツアーキャンプ」に招待される。だが、それはただのパック旅行ではなく、キャンプへ行くための課題をクリアしなければならないものだった。キャンプの存在を訝しむ人々に、旅行代理店の社長・清岡はその実在を断言する。はたして、彼らはキャンプに辿りつくことができるのか。そもそも、彼らはなぜ、そんなにもキャンプを求めるのだろうか。萩原朔太郎が朗読する『キャンプ』の声と交差しつつ、物語は展開していく……。



萩原朔美

1946年11月、東京都生まれ。寺山修司が主宰した「天井桟敷」の旗揚げ公演で初舞台を踏む。俳優の傍ら、演出を担当し映像制作も始める。版画や写真、雑誌編集とマルチに才能を発揮する。著書多数、多摩美術大学名誉教授。2016年4月から前橋文学館館長。



生方保光

劇団ザ・マルク・シアター主宰。今年の第50回朔太郎忌リーディングシアター「さんんふたくみ」脚本・演出を担当。常に冒険心は止まらず、今年JAZZユニット「温まりtoウブな音の和」を結成。6/12初ライブ開催。



大島加代子

大学在学中より劇団「東京壱組」に所属し、舞台やTVドラマ、CM、映画などに出演。群馬では数々のミュージカル作品に参加。現在はYouTubeにて「演劇ユニットコトリ」として活動。オンラインミュージカル「走れ！特急ひたち号」公開中。



大島政昭

1967年生まれ。県立前橋高校卒。オンシアター自由劇場に所属し「上海バンスキング」の舞台に立つ。その後、劇団「いらっしゃい」に参加し、下北沢を中心にコントライブを展開。前橋市民ミュージカルやM'alls「ヘアスプレー」などに出演。



高橋幸良

香川県生まれ高崎市在住の人形劇俳優。群馬県唯一のプロ人形劇団やまねこ座・人形劇工房-を主宰。まーやの家企画部長。しあわせ太鼓演出部。育英短期大学と茨城大学で非常勤講師を務めてきた。第30回JOMO童話賞最優秀賞受賞。



中村ひろみ

東京都出身。明治大学文学部演劇学科卒業。1989年より前橋市在住。演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ主宰・役者。空間の文化と歴史を生かした作品作りを続ける。2016年vol.01以来、前橋文学館リーディングシアターの制作・演出・出演多数。



東野善典

昭和52年12月30日生まれ。県内劇団にて2、3度舞台に立ち、上京し約11年間役者として活動。群馬県中学校演劇祭の審査員をさせて顶いたり、役者、演出、殺陣師、ラジオなど活動の場を広げる。



予約方法

お申し込みは各回共、公演日の前月最初の日曜日から前橋文学館 027-235-8011まで
※ご予約は先着順となります。※入館に際しては、マスク着用等の感染対策をお願いいたします。※新型コロナウイルス
感染拡大状況によっては、開催内容等に変更が生じる場合があります。ご来館の際は事前にホームページ、もしくは
お電話にてご確認ください。



TEL:027-235-8011 FAX:027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10



※広瀬川サンパーキング（市営P城東）のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたしました。

前橋文学館



猫町観光案内
facebookページ



<https://www.facebook.com/2022nekomachikankouannai.maebashi/>